

地域力を高める これからの 協働

ファシリテータ 育成テキスト



今川 晃／山口 道昭／新川 達郎●編 ●A5判・280頁 ●定価2,625円 (本体2,500円)

協働に取り組むファシリテータのための網羅的な一冊!!

市民意識の変化や自治体財政危機の深刻化といった社会的背景の中で、自治体は、従前のように増え続ける行政事務を自ら執行することができなくなっている。住民、NPO、企業等と幅広く連携しながら、事業を遂行していかなければならない。こういった自治体と住民等との連携に際してのキーワードが、「協働」である。そして、この協働の時代には、これにふさわしい自治体職員の様子が求められるであろう。

協働は、耳当たりがよい割には、その中身となると多様である。概念もまた、はっきりと定まったものとはいえない。行政改革の有力な手法としてのNPM (New Public Management: 新公共管理) が、世界各国で実践され、日本でも同様であるが、協働は、NPMと重なりを持ちつつも必ずしも同様の考え方に立つものではない。しかしながら、協働を網羅的に研究する書籍は、きわめて数が少ない。このような問題意識から本書は企画されたものである。

(「はじめに」より抜粋)

章目次と各章の内容 (抄録)

第1章 新たな地域政策ビジョン

問われるパラダイムの転換／住民自治と協働の視点

第2章 ポスト分権・合併時代の地域住民組織と協働

地域からの自治再構築／協働のための組織の条件／協働による地域政策実現の条件／従来型地縁団体とNPOの可能性／地域審議会、地域自治区、合併特別区の可能性／新たな地域ガバナンスの中の自治

第3章 地域連携における協働ルール

地域ビジョンを実現するためのルール／協働実現のための法環境／自治体協働ルールのつくり方・活用例／協働ルールの法理論／法理論からみた自治体協働ルール／協働型自治体と職員人事政策

第4章 地域政策形成・実施のための協働手法

事例1 高浜市いきいき広場／事例2 まちづくり拠点としてのまちづくり情報銀行／事例3 県境・山国川流域の連携と参加、その軌跡／事例4 分権時代における身近な自治の仕組みづくりへの取組み

第5章 分野別協働事業によるまちづくり

共通課題／教育・文化／福祉／環境／産業

第6章 協働におけるリスクマネジメント

リスクマネジメントと協働／政策形成における協働のリスクマネジメント／公共サービス提供におけるNPOのリスクマネジメント／協働リスクマネジメントの構想と課題

第7章 人材を育てる

意識改革／人材養成／自治の担い手の教育・研修

第8章 協働にかかわる組織・制度

行政制度／NPO活動／議会制度／地元企業の活動／コミュニティ団体の活動



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp/>